

第3回ウェビナー Q&A

ウェビナー申し込み時に頂いた質問で重要なもの・ウェビナー内でお答えできなかったものを掲載しています。

Q. バーバルアブュース、パワハラを受けた子どもが受ける影響と未来

A. ウェビナーの中でもお伝えしたように、身体、精神を含め、将来的に様々な影響を与えます。また、データによるとDV被害を受けた（面前DVも含む）お子さんが大人になった時、加害者及び更なる被害者になる可能性が高いです。これは人が人格形成をするに当たって土台となる家庭が崩壊していることが「普通」として育つため、本人の意思とは裏腹にそういった関係性を後々に構築してしまう可能性が高まります。いくつかリソースを載せておきます。特に参照3は、事例も含めてかなり詳細な情報が書かれていますので、一読することをお勧めします。

参照1: 面前DVについて知ってください

<https://www.youtube.com/watch?v=F2UdNaUwxZM>

参照2: NHK「面前DV」子どもの心の叫び

https://www3.nhk.or.jp/news/special/jiken_kisha/kishanote/kishanote11/

参照3: 面前DV,DV環境下で育つ子どもに表れる症状と傾向

<http://12310403dvsien.blog.fc2.com/blog-entry-64.html>

Q. 鬱患者のパートナーが鬱患者にどう振る舞えばいいのか教えてほしいです。

A. ご質問の内容が如何様にも解釈できる（非鬱患者が鬱患者のパートナーを持っている、カップルで二人とも鬱患者、また、ここでいう「鬱患者」はパートナーに特定しての質問なのか、あるいは、第三者としての鬱患者なのか、など）ため、ピンポイントなアドバイスは難しいです。ただ、親しい方が鬱患者でそのかたをサポートしたいのであれば、ご本人が調子の良い時に聞いてみるというのはいかがでしょう。「これは助かる、これは迷惑」などの確認をしておき、その都度対処できるようにしておくとも良いかもしれません。例)「泣いているときは、1度で良いからハグしてもらえると助かる」「1日以上部屋にこもっていたら、話しかけて欲しい」など。ただ、どのような状況でこのご質問をされているのかわかりかねますので、パートナーやご自分の精神状態がご心配な場合は、専門家へのご相談をおすすめします。

Q. マリッジカウンセラーから、わたしは emotional abuse relationship にいるから別れることを検討した方がよいと言われました。個人の決断に委ねられることが多いかと思いますが、この状態で結婚生活を続けていくことはできると思いますか？

A. ウェビナー内でお答えしていますのでご参照ください。個々人によって状況が大きく違いますので、詳しい話を聞かせて頂くことが必要かと思えます。いろいろな相談先をウェビナー内で紹介していますので、相談してみてもいいでしょうか。

Q. ハラスメントと「自分勝手に本当に嫌な人だなー」の境界線とは。どこで線引きするのでしょうか。

A. セミナー内でお答えしていますのでご参照ください。どのようなハラスメントなのか、専門家とつながって話を聞かせて頂き、広い全体像を見極める必要があるかと思えます。DVではなかったとしても、夫婦関係の悩みをクリアにすることが重要です。つらいことがあったら早めにプロフェッショナルに相談することが大切です。

Q. 自身に暴力がなくとも、ものにあたってそのものを壊したり、壁や床に穴が開くほどあたたたり、どなったりされることも DV に値すると思ってもいいですか？そして、それが知らぬ間に悪影響となり、いままで怒りっぽくなかった自身が暴力的な方向へ変貌してゆくような影響分子となることはありますか。

A. あくまで短い質問から推測した限り、ものに当たったり、壁や床に穴が開ける、怒鳴ることあなたに恐らく相当な恐怖を感じていることと思えます。相手がそういう態度を取っている時、刺激しないようにしたり、とにかく相手のエネルギーが尽きるまで耐えているのであれば、精神的暴力がある可能性が非常に高いです。またそういう悪影響が自身を暴力的な方向へ変貌してゆく影響分子となるかは、人によるかと思えます。同じ種類の DV を受けてもその受け止め方、耐え方、かわし方、捉え方は人それぞれです。しかし当人が思う以上に大きく深い精神的な影響があります。抑圧されたたくさんの想い、感情が暴力的な方向で出たとしても私は驚きません。

Q. モラハラ夫と別れるべきか続けるべきか

A. 今まさに切実な問題として悩まれていることとお察しします。詳しいお話を聞いていないのでなんとも言えませんが、私たちはこの質問の答えをお渡しすることはできません。厳しい言い方に聞こえるかもしれませんが、ご自身で考えて決められることです。とは言え、どのような理由でも人生を共に歩むと決めたパートナーと関係性を続けるのか、辞めるのかを決めるのは容易なことではないのは痛いほど理解できます。AADA へ連絡くださりお話の時間を頂ければもっと突っ込んだやり取りをできるので、決める上でどこから始めたらいいのか分からないのであればご連絡ください。ただ私たちがあなたと同じようなことを

聞いてこられるクライアントさんによくお聞きするのは「お金や生活環境など横に置いておいて、今のパートナーと生涯一緒に生きていきたいですか？」ほとんどの方はこの質問を自身にする時、条件で答えを出そうとしがちです。そうではなく、あなたの感情で答えを出すとしたらどうなるのか、そこを大事にしてほしいと心から思います。恐らくもう答えはわかっていると思いますよ。

Q. ロジカルハラスメントについても知りたいです。

A. ロジカルハラスメントという言葉は今回私も初めて知りました。ですので大変申し訳ないですが、ロジカルハラスメントがどういうものかはネットで得た情報と同じものしかお伝えできません。モラルハラスメント同様ロジカルハラスメントは和製英語で、日本でのみ通用する言葉のようです。アメリカにはこのような定義はありません。ネットで見た内容から判断すると、精神的暴力の一部だと考えられます。